

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社 ロブテックス 上場取引所 東  
コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 森下 幸治 TEL 072-980-1110  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,776	△1.6	137	△5.5	139	△11.0	80	△13.5
2024年3月期中間期	2,821	△3.2	145	△41.2	156	△38.7	93	△39.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 86百万円 (△46.2%) 2024年3月期中間期 160百万円 (13.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	43.14	-
2024年3月期中間期	49.86	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	9,233	4,866	52.7
2024年3月期	9,284	5,096	52.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,866百万円 2024年3月期 4,843百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	35.00	35.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	30.00	30.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当30円、記念配当5円

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,070	2.4	300	△15.3	300	△30.8	190	△32.1	101.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	2,000,000株	2024年3月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	132,600株	2024年3月期	132,592株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	1,867,404株	2024年3月期中間期	1,867,408株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の我が国経済は、原油や資材価格高騰・為替の変動による物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化等の影響により、その先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロに応え、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを推し進めるにあたり、経営課題の解決に向けた機能的な組織への変更を2024年7月に行いました。その内容は以下のとおりです。

新規開発事業部、ハンドツール事業部、ファスニング事業部の3事業部を新設。事業部制を導入し、事業収支改善を徹底することで「業務の整流化」と「利益体質の強化」を図ります。

新規開発事業部では、新規商品の開発、新規調達先の開拓を加速、充実を図ります。

ハンドツール事業部では、開発から生産までの商品化プロセスを加速させ、安定的且つ効率的供給体制を構築し、特に生産拠点であるグループ会社、鳥取ロボスターツール株式会社との連携を図ることにより収益力の強化を行います。

ファスニング事業部は、需要が増加している接合作業の自動化装置など、ファスニング分野のさらなる伸長を図るため、技術開発、営業、アフターサービス部門が一体となり、お客様の要求に“きめ細やか”に対応し、市場ニーズを的確に捉えるべく製販一体となった組織を目指します。また、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロボテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制を築きます。

営業部門については、事業部制導入に伴い、接合作業の自動化装置とファスナーツール・接合ファスナーに対する取り組みをより強固とするために第一営業部、第二営業部を国内営業部とファスニング事業部の営業部門に再編成しました。国内営業部は東日本(北海道・東北・関東・中部)と西日本(関西・中四国・九州)の営業チームとして再編し、対応の迅速化を図ります。

なお、当社グループでは、経営課題であります“利益体質の強化”を図るべく、現状課題については前期実施していたプロジェクトから各部門に引継ぎ、解決策を展開してまいりました。そして、未来を見据えた目指すべき将来像についても各種会議体にて描いており、新商品・新サービス情報を市場から収集し、それを商品実現という形でお客様にご提供するだけでなく、市場の大きな流れ(例えば技術動向等)をあらゆる切り口から検証し、市場が要求する新たな価値を創造し、商品化、サービス化することで「モノづくりのプロ」にお応えすべく推進してまいりました。

しかしながら、売上高は前年同期比1.6%減の2,776百万円(前年同期2,821百万円)となり、営業利益では同5.5%減の137百万円(同145百万円)、経常利益では同11.0%減の139百万円(同156百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益では同13.5%減の80百万円(同93百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

ハンドツール事業では、国内・海外ともに昨年を上回り、特に海外売上において、モンキレンチの販売が好調に推移し、売上高を牽引しました。また、これまでの一部商品の欠品による受注残については、対策を講じ、現在では解消に向かっております。

一方ファスニング事業においては、国内・海外ともに省人化を目的とした自動機やシステム物件の引き合いが増加傾向にあり、着実に受注に結びついております。しかしながら、前年の機械組み立て関連の大型物件分をカバーするだけの販売数には届きませんでした。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比1.5%減の2,651百万円(前年同期2,692百万円)となり、セグメント利益については、同9.7%減の75百万円(同83百万円)となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場における売上高は、サービス向上や集客施策を実施してまいりましたが、売上の中心となる4月～5月において、前期の新型コロナウイルス感染症行動規制下での特需が5類移行により落ち着き、また、7月～8月の猛暑の影響もあって入場者数は減少し、一人当たりの売上高も微減となり、前年同期比3.7%減の124百万円(前年同期129百万円)となりました。セグメント利益については、同0.2%増の61百万円(同61百万円)となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は9,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少しました。

（資産）

流動資産は前連結会計年度末比40百万円減の6,245百万円となりました。これは主に棚卸資産が増加する一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同10百万円減の2,987百万円となりました。これは主に設備投資の実施や投資有価証券の時価上昇による増加がある一方で、減価償却の計上による減少があったことによるものです。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末比29百万円減の2,488百万円となりました。これは主に買掛金が増加する一方で、未払費用や短期借入金が減少したことによるものです。

固定負債は同208百万円増の1,878百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末比229百万円減の4,866百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加や投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加がある一方で、連結子会社である株式会社ロボテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴う非支配株主持分の減少や配当支出があったことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少（前年同期36百万円減少）し、2,459百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

棚卸資産の増加による減少がある一方で、売上債権の減少や税金等調整前中間純利益及び減価償却費の計上などにより、資金が262百万円増加（前年同期18百万円減少）しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得を主因に、資金が81百万円減少（前年同期135百万円減少）しました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

借入金収入による増加がある一方で、連結子会社である株式会社ロボテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴う連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得支出や配当金の支払いなどにより、資金が183百万円減少（前年同期119百万円増加）しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、2024年5月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,791,637	2,786,163
受取手形及び売掛金	1,078,775	863,072
電子記録債権	280,558	235,657
商品及び製品	1,260,246	1,495,087
仕掛品	426,527	435,773
原材料及び貯蔵品	355,403	333,322
その他	98,304	101,411
貸倒引当金	△5,636	△5,141
流動資産合計	6,285,816	6,245,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	762,230	746,213
土地	668,226	668,226
その他(純額)	609,803	589,223
有形固定資産合計	2,040,261	2,003,663
無形固定資産	29,969	28,566
投資その他の資産	928,033	955,585
固定資産合計	2,998,264	2,987,816
資産合計	9,284,080	9,233,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	265,870	309,379
短期借入金	1,675,500	1,641,656
未払法人税等	73,440	66,155
その他	503,201	470,897
流動負債合計	2,518,013	2,488,088
固定負債		
長期借入金	1,469,466	1,659,606
退職給付に係る負債	85,103	96,628
その他	115,403	122,479
固定負債合計	1,669,972	1,878,713
負債合計	4,187,986	4,366,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	493,710
利益剰余金	3,267,581	3,282,782
自己株式	△164,523	△164,534
株主資本合計	4,554,103	4,571,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289,575	294,401
その他の包括利益累計額合計	289,575	294,401
非支配株主持分	252,415	—
純資産合計	5,096,094	4,866,360
負債純資産合計	9,284,080	9,233,163

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,821,972	2,776,788
売上原価	1,906,302	1,885,474
売上総利益	915,670	891,314
販売費及び一般管理費	770,231	753,903
営業利益	145,439	137,410
営業外収益		
受取配当金	9,100	12,123
その他	14,950	4,655
営業外収益合計	24,050	16,778
営業外費用		
支払利息	12,241	14,086
その他	675	716
営業外費用合計	12,917	14,803
経常利益	156,572	139,385
特別利益		
投資有価証券売却益	376	—
特別利益合計	376	—
税金等調整前中間純利益	156,948	139,385
法人税等	50,861	56,322
中間純利益	106,086	83,063
非支配株主に帰属する中間純利益	12,982	2,502
親会社株主に帰属する中間純利益	93,104	80,560

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	106,086	83,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,568	3,409
その他の包括利益合計	54,568	3,409
中間包括利益	160,655	86,472
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	146,396	85,387
非支配株主に係る中間包括利益	14,258	1,085

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	156,948	139,385
減価償却費	84,021	111,778
貸倒引当金の増減額(△は減少)	453	△494
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,562	11,525
受取利息及び受取配当金	△9,112	△12,252
支払利息	12,241	14,086
助成金収入	△2,300	—
為替差損益(△は益)	1,206	2,608
投資有価証券売却損益(△は益)	△376	—
売上債権の増減額(△は増加)	64,306	260,603
棚卸資産の増減額(△は増加)	△304,190	△222,006
仕入債務の増減額(△は減少)	69,340	43,508
その他の資産の増減額(△は増加)	△12,169	234
その他の負債の増減額(△は減少)	△11,662	△22,467
小計	54,270	326,510
利息及び配当金の受取額	9,112	12,253
利息の支払額	△11,982	△14,928
助成金の受取額	2,900	—
法人税等の支払額	△72,987	△61,806
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,686	262,029
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	276,600	276,600
有形固定資産の取得による支出	△113,092	△68,232
無形固定資産の取得による支出	△3,844	△979
投資有価証券の取得による支出	△4,099	△5,875
投資有価証券の売却による収入	2,078	—
その他	△16,803	△6,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,761	△81,872
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	590,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△378,468	△443,704
リース債務の返済による支出	△22,278	△23,110
自己株式の取得による支出	—	△10
配当金の支払額	△56,022	△65,359
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△236,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,231	△183,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,206	△2,608
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,423	△5,473
現金及び現金同等物の期首残高	2,603,570	2,465,036
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,567,147	2,459,563

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	中間連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,692,199	129,773	2,821,972	—	2,821,972	2,821,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,692,199	129,773	2,821,972	—	2,821,972	2,821,972
セグメント利益	83,814	61,624	145,439	—	145,439	145,439

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	中間連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,651,829	124,958	2,776,788	—	2,776,788	2,776,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,651,829	124,958	2,776,788	—	2,776,788	2,776,788
セグメント利益	75,666	61,743	137,410	—	137,410	137,410

(注) 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。